

【9：30～】

○自己紹介・冬といえば・・・

・幼小連携の難しさ。気持ちの良い表情がたくさんあった。

○園の思いや大切にしていること（濱崎）

・

【10：00～】

○園内見学（園庭・保育室）

【11：00～】

○委員会・意見交換会

・相楽先生

あの広さの中に、」ものが多い？

一人一人がやりたいことをして過ごしている。自分の課題をもって向き合っている。やりたいことに向き合っている。

静かに座って時間を過ごせることが、、、

気になる子が目立たない。職員同士の連携やスキルが大切。実践していく中で何を大切にしている？

⇒正解はない。議題を挙げて職員同士話し合いをしている。わかる。

わかるは1：30～2：30の間にする。

トップダウンではなく、職員一人一人の言葉を聞く。

けがの時も、原因を突き止めるのではなく、自分に何ができたかを考える。

・岩尾先生

どんなスキル？

部屋の中で、子どもと寄り添えば寄り添うほど、子どもの事を客観的に醜くなる。

どんな声かけをしているのか？

日々の声かけで、少しずつ覚えてもらう。心使いや気を付けている。

・佐藤先生

興味を広げる取り組みはどうしている？

⇒いつも砂を触って遊んでいることがあると、心が動くような絵本や環境を準備。子

どもよりも多くを経験している大人だからこそ、提案はしていることもある。
提案ができるのは、自分のクラス外から意見をもらえることもある。

外と中の時間の設定は？

⇒10:00 すぎに自分で選んで過ごすのかを決めている。

危ないと思われることにも挑戦していた。

大人が声を張り上げないことがすごい

⇒大人の態度や言葉で指示命令になっていないか？

子どもだからと

・大野先生

遊びの中から得られるものが多い。公開保育の中で、縄文小屋の横で1時間寝転んで過ごしている子。自分たちのことを出せること、お互いを認め合って動いている。

室内では、作る力、イマジネーションの力がある。

小学校とつなげていくには？生活科の評価をどうするのか？成績をつけにくい教科なので、最終的に子どもたちがどう変わっていくのかをとらえていくことが大切。日々の中でわかるしている。

子どもたちがどう成長しているのかを、どう工夫しているのか？

⇒夢みる小学校という映画にある中で、教科の評価をしている。どの遊びがどこの評価につながっていくのか？と

アートの会の事・・・

・上坊先生

子どもが選択できる環境。それが成長できる機会。自分がどうしたいかということを選択できることの先に成長がある。

テコの原理・・・自分が小さい時に経験の中にあることが結びついたことでつながる。

フリースクールにくる子・・・外に出て動き出すこと、自分たちでご飯を作ることが強化にも結び付いている。子どもたちが満足感をもって過ごしている。

多様性と、体験から結びつくこと。理念としてありのままを大切にする。大人も子供も。600人園児さんがいる園、実践されてる園。

・富山先生

自分が通っていた園とは違い、正面がない。小学校や幼稚園は正面がある。机のまわりに囲むように椅子が並んでいて、子どもとして一人の人として関わっている。経験の浅い人に伝えていくには時間がかかる。そうしてこの時間を作っているのか（運営

上の工夫)？何もしていない大人と聞いていたが、何があってもすぐに出ていけるようにしている。その様に指導しているのか？(そのような教育を受けていないと思うので)・・・高校でどんなことを子どもに伝えて送りだしたらよい？

オトナのあり方

⇒子どもとのかかわり方をアートの会の振り返りでしている。

・清井さん

先生が困ることが、どれくらいあるのか？ 一人ひとり個性がある。⇒愛着で自分をたくさん出してくる子も多くいる。大人は向き合うが、大人も向き合えない時は「変わってほしい」と伝えるようにしている。大人のケアをするようにあしている。

ボールの取り合いがあった時はどう対応する？⇒子どもを含めて話し合いをする。子どもの思いを言い合える場所を作る。小さい話し合い時間。

・中野さん

愛着の子に特定の大人が付くことをしている？⇒特定の人が付くようにしているが変わることもある。

・牧先生

将棋をしたい子がいて、やりたいことに毎日できること、今やりたいことに向き合ってくれることが成長につながる。